

那智山  
青岸渡寺

那智山青岸渡寺は紀伊半島の一番南にありまして、那智の滝がどこからでも見られる場所に建っています。

仁徳天皇の頃、印度の裸形上人が渡来され那智の滝で修行され、八寸の観音様を感じられて安置していました。その後推古天皇時代、奈良の生佛上人が来山して裸形上人の話を聞いて椿の霊木に四メーターの如意輪観音像を刻み、八寸の観音像を体内に納め、推古天皇の勅願により本尊様がお祀りされました。

平安時代には六十五代花山法皇が出家後那智山に来山し、三年間修行され、満願お礼に關西一円の観音霊場をお参りされ那智山は西国第一番の札所になりました。

現在の本堂は天正十八年（一五九〇）信長の兵火に遭い、豊臣秀吉が再建され、当地方では一番古い重文の建造物であります。

## 那智山 青岸渡寺

住所／〒649-5301 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8  
電話番号／0735-55-0001